会員さんNOW

地元出身大辻関　新十両に昇進!

当所副会頭でカノコ㈱代表取締役 大辻利紀さんのご子息 大辻理紀さん（21）が、このたび大相撲新十両に昇進されました。東播地域出身の力士が関取になるのは高砂出身の妙義龍以来15年ぶり、現在では兵庫県出身の関取も不在となっていました。

３月２日、加古川プラザホテルにおいて所属する高田川部屋主催の祝賀会が開催され、地元関係者など約千名が参加、地元出身の関取誕生を祝い、今後の活躍を激励しました。応援お願いします！

会場一杯の参加者から祝われる大辻関（右）

会議所のうごき

今年の経済動向は…？
―新春経済講演会を開催―

2月17日、日本銀行　神戸支店長の別所昌樹氏を講師に「2025年経済展望！」と題した講演会を開催しました。

まず日本銀行について、同銀行の目的や金融政策、昨年新たに発行を開始した日本銀行券の特徴について説明されました。新しく導入された偽造防止技術やユニバーサルデザインなどの工夫が紹介され、江戸時代の紙幣についても触れられました。

次に海外と日本の経済動向について、様々な視点からの推移がグラフを用いて解説されました。

続いて2025年の注目すべき点として、主にトランプ2．0と人手不足について取り上げ、それぞれが経済や物価に与える影響について説明がありました。

最後に兵庫県経済の動向について、業況は横ばいに推移しており、水準はコロナ後のピークに達しているとの説明がなされ、参加者は熱心に耳を傾けている様子でした。

参加者は58名

青年部

感謝いっぱいの卒業式
―卒業例会を開催―

3月10日、卒業例会「感謝を胸に、共に未来へ」を開催しました。54年会の皆様、卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。今回の卒業例会では、式典を行った後、懇親会では委員会メンバーによる格付けチェックや一流マジシャンSORAのショーなどアトラクション盛り沢山の例会となりました。卒業される皆様の楽しんでいる姿を拝見出来てホッとする反面、本当に卒業してしまうのだなと寂しい気持ちにもなりました。

この例会で私が印象に残っているのは、やはり卒業生お一人お一人から頂いた、最後のご挨拶でした。YEG活動の楽しさや思い出話だけでなく、青年経済人として、人として、気持ちのこもった卒業生のお言葉は、現役メンバーの心に深く刻まれ、今後のYEG活動や自企業の発展への励みとなりました。またこのような笑顔溢れる素敵な卒業例会が出来たのは、委員会メンバーだけでなく、この一年間、山本会長を中心に共に歩んで来たたくさんの仲間の協力のおかげだと感謝し、お礼申し上げます。

輝かしい卒業生の皆様

令和6年度のスローガンにもある「初志貫徹」のように、ここでYEGに入った最初の気持ちを振り返り、いつか自分にも訪れる卒業という日、どのような卒業式を迎えたいか、そんな未来を想像しながら、後悔がないよう、これからもYEG活動を積極的に行い、たくさんの研鑽と交流を重ねたいと思います。またその学びや経験を通じて、自企業への成長に繋げ、地域を支える青年経済人として未来へと邁進したいと思います。

最後になりますが、卒業生の皆様のこれからの未来が希望と可能性に満ちたものになりますように、これからのご活躍を心よりお祈りしています。

（交流委員会　委員長　小林　賢人）

卒業生（最前列）を囲んでの記念撮影

団体だより

女性会

地域福祉への貢献
―靴下まつり収益金を寄付―

2月7日、加古川市社会福祉協議会へ「第28回女性会チャリティー靴下まつり」の収益金寄付のために、中尾副会長、落合副会長、立花副会長とともに訪問しました。

毎年恒例の靴下まつりも当日来場者数1700名あまり、盛況に終わることができました。また、社会福祉協議会には毎回福祉団体の出展募集にもご協力いただいております。また、靴下まつり当日も田渕博之理事長はじめ皆様がご来場くださり、お買い物や喫茶コーナーを楽しんでいただけました。いつもご協力ありがとうございます。

バザーと喫茶の売上を寄付

女性会メンバーによる格付けチェックや一流マジシャンSORAのショーなどアトラクション盛り沢山の例会となりました。卒業される皆様の楽しんでいる姿を拝見出来てホッとする反面、本当に卒業してしまうのだなと寂しい気持ちにもなりました。

この例会で私が印象に残っているのは、やはり卒業生お一人お一人から頂いた、最後のご挨拶でした。YEG活動の楽しさや思い出話だけでなく、青年経済人として、人として、気持ちのこもった卒業生のお言葉は、現役メンバーの心に深く刻まれ、今後のYEG活動や自企業の発展への励みとなりました。またこのような笑顔溢れる素敵な卒業例会が出来たのは、委員会メンバーだけでなく、この一年間、山本会長を中心に共に歩んで来たたくさんの仲間の協力のおかげだと感謝し、お礼申し上げます。

令和6年度のスローガンにもある「初志貫徹」のように、ここでYEGに入った最初の気持ちを振り返り、いつか自分にも訪れる卒業という日、どのような卒業式を迎えたいか、そんな未来を想像しながら、後悔がないよう、これからもYEG活動を積極的に行い、たくさんの研鑽と交流を重ねたいと思います。またその学びや経験を通じて、自企業への成長に繋げ、地域を支える青年経済人として未来へと邁進したいと思います。

最後になりますが、卒業生の皆様のこれからの未来が希望と可能性に満ちたものになりますように、これからのご活躍を心よりお祈りしています。

（交流委員会　委員長　小林　賢人）

運動で清々しい時間を♪
―2月度事業を開催―

2月13日、女性会メンバーの薄雲敦子氏を講師に、「いつまでも元気で歩きたいあなたへ」をテーマとしたトランポリン体操を開催しました。

トランポリン体操とは、トランポリンの中央で両足が平行になるように足裏全体を意識して、腕を大きく振って腿を上げ、掛け声と音楽に合わせリズミカルに笑顔で足踏みをするものです。トランポリンの弾みを利用するため、足腰への負担が少なく、ふんわりと優しく身体が動く感覚でした。気が付くと、皆頬も火照って少し汗ばみ、清々しい気持ちでストレス解消、楽しい時間を過ごせました。

明るく元気に若々しく！

運動は脳が活性され、免疫力もアップされるので、人生100年時代の今、とても大切なことだと実感しました。いつも明るく元気で若々しい薄雲さんのようになりたいです。

参加者は10名

（副会長　落合　順子）

加古川市国道2号等整備促進協議会

岡山県のまちづくりを学ぶ
―視察研修会を開催―

2月6日、まちづくり先進地視察研修会を開催し、岡山県岡山市方面を訪問しました。

ハレまち通り（旧県庁通り）の歩いて楽しい道路空間創出事業について、岡山市の担当職員から概要の説明を受けました。当事業の3つの軸である「車中心から人優先の道路空間へ再構築」「道路空間を活用する仕組みを構築」「行政主導からはじまり、官民連携のまちづくりへ」について詳細を伺いました。

人優先の道路空間へ

その後、ハレまち通りを実際に訪れて歩道幅や自転車レーンなどを確認しました。またグラウンドの天然芝生化や木陰のできる植栽、ベンチの設置など、人が落ち着いて過ごせる空間の創出に配慮した下石井公園も訪れ、現状や課題点を考察しました。

参加者は19名

異業種交流会

岡田市長との懇談会を開催
―2月度定例会を開催―

2月18日、岡田市長を囲んで懇談会を開催しました。

はじめに西村会長より挨拶があり、仲上顧問の乾杯の音頭で食事を開始しました。その後、岡田市長より令和7年度施政方針などについて、食事をとりながら説明を聞きました。令和7年度施政方針の理念として市民が感じる幸福感（ウェルビーイング）の向上を目指すこと、中長期的な方向性として「加古川ならではの魅力づくり」を掲げました。身近な自然を生かした魅力づくりとしてかわまちづくりや公園、駅周辺のにぎわいづくりに力を入れていることを述べられました。

質問に回答する岡田市長

最後の質疑応答では、尾上公園の整備や加古川駅前開発について等の質問に対し、それぞれに丁寧な回答をいただきました。

参加者は19名